

「第2次千葉県自転車活用推進計画（案）」に対する意見と県の考え方

千葉県県土整備部道路計画課管理調整班

- 1 パブリックコメント実施期間 令和5年12月27日(水)～令和6年1月26日(金)
 2 意見提出者数(意見の延べ件数) 2人(7件)
 3 提出された意見の概要と県の考え方
 ※提出された意見について、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。
 ※また、同様の内容のご意見についてはまとめさせていただきました。
 ※複数の理由から意見が述べられている場合は、意見の概要を分けて掲載しています。

御意見の概要	県の考え方
<p>自転車通行空間について 専用レーンはかえって危ない、車はスピードがでるし避けきれない。</p>	<p>自動車、自転車、歩行者の通行を分離することが、安全かつ円滑な交通を確保することとなるため、専用レーン(自転車専用通行帯)を整備していきます。</p>
<p>太平洋岸自転車道について 自動車の交通量が多い道路、路側帯の狭い道路、通行帯のないトンネルなど、安全・快適に走れる道路環境が重要であるので、拡幅を含めて検討してほしい。</p>	<p>トンネルや橋梁区間など幅員が狭小な区間について、代替ルートを設定するなど走行環境の向上を図ってまいります。</p>
<p>認知度が低いと感じるので、他県と連携して、ルート全体の魅力をブランディングしていくべきと感じる。千葉県としても、県ならではの魅力をPRすれば、多くのサイクリストが訪れるようになると思う。</p>	<p>首都圏にありながら、海や山など豊かな自然環境に恵まれた本県の特性を生かし、多くのサイクリストが県内を訪れ、長い時間、県内に滞在してくれるよう、サイクルコース、休憩所のほか、コース周辺の魅力ある観光地や美味しい食材の情報等のサイクルツーリズムに関する情報発信に努めてまいります。</p>
<p>初心者にも気軽に楽しんでもらうために、旅行のついでにレンタサイクルでルートの一部を走るなど、数km～数十km程度でも楽しめるコンテンツを充実させるべき。</p>	<p>サイクルツーリズムの推進のため市町村や民間事業者等が行う地域資源を活用した観光コンテンツ開発へ向けた取組を支援しているところですが、頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>サイクルツーリズムについて 千葉県は成田空港を擁し、首都圏にも近い。東京観光を終えた訪日外国人が、千葉県でのサイクリングを次の目的地としてもらえるよう、太平洋岸自転車道だけでなく、内陸部にもつながるルートを整備し、新たなニーズを開拓するべき。</p>	<p>太平洋岸自転車道だけでなく計画・構想を含めた県全体の骨格となるサイクリングロードを取りまとめた「千葉県サイクリングロード計画図」を策定したところです。</p>
<p>サイクリングを楽しむ人が多く訪れるにつれて、地域住民との摩擦が起こる事例があると聞くが、自転車道を整備する段階から、どれくらいの自転車が通り、どんな影響が起こるかしっかりと調査を行い、地域住民へ理解を求める必要があると感じる。</p>	<p>各種サイクルイベントなどについては市町村やサイクリング協会などの各種団体と連携して実施しているところですが、頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>駐輪場の整備について 自転車利用の拡大を促進しても、駐輪場が整備されていなければ、放置自転車の問題を引き起こすため、駅などにおいて十分な台数を収容できる駐輪場の整備は必須である。整備効果の高いエリア、場所などを調査し、的確に整備を行ってほしい。</p>	<p>関係機関と相互に協力し、自転車の放置防止に向けた広報啓発を実施しているところです。駐輪場の確保について頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>